

PADI Discover Scuba® Diving プログラム受講者の声明書

以下の文章をよくお読みください。

この声明書には病歴アンケート、免責および危険引受けの同意書、非代理人の公開および確認の同意書、および Discover Scuba Diving 知識と安全上のルールの復習が含まれており、スクーバダイビングの潜在的な危険性の一部ならびに PADI Discover Scuba Diving プログラム受講中に必要とされる行為についての情報が記載されています。未成年の方は、親権者または保護者がこのガイドを読み、裏面に署名をすることが必要です。

また、スクーバダイビング中の呼吸法や圧平衡に関する重要な安全上のルールについて、PADI Professional から学ぶ必要があります。適切な監督と指示を受けずにスクーバダイビングをしたり、スクーバ器材を使用すると、重大な怪我や死亡事故につながる可能性があります。器材の使用については、資格のあるインストラクターから直接指導監督を受けることが必要です。

PADI病歴アンケート

スクーバダイビングは刺激的で努力を要するアクティビティです。スクーバダイビングは、過度の肥満や、健康不良な状態にある人にはできません。ダイビングは非常に体力を消耗する場合があります。特に呼吸器系や循環器系に問題がないことが必要です。また、体内の空気が貯まっている部位もすべて正常で健康な状態にある必要があります。心臓疾患、風邪や鼻づまり、てんかん、ぜんそく、重大な健康上の問題がある人、または、アルコールや薬物の影響を受けている人はダイビングをするべきではありません。服薬中の人は、プログラム受講前に医師に相談してください。

病歴アンケートの目的は、レクリエーション・スクーバダイビング活動に参加する前に、医師による診察が必要かどうかを見極めることにあります。アンケートの質問に対して「はい」の回答をしたからといって、必ずしもダイビングが許されないということではありません。「はい」と回答をされた場合は、ダイビング中のあなたの安全に影響を与える可能性のある既往症をお持ちだということの意味するため、医師のアドバイスを受ける必要があります。

これまでと現在のあなたの健康状態について、以下の質問に「はい」もしくは「いいえ」でお答えください。どちらに答えればよいのかわからない場合は「はい」とお答えください。該当する項目がある場合は、スクーバダイビングを始める前に医師からのアドバイスを受けることが要求されます。PADI Medical Statement、および医師からの診察を受ける際に必要な PADI Guidelines for Recreational Scuba Diver's Physical Examination は、PADI Professional から提供されます。

- 現在、中耳炎または外耳炎にかかっていますか？
- 今までに耳の病気になったり、難聴や身体のバランスがとれないといった問題（めまいやふらつき）を経験したことがありますか？
- 耳や副鼻腔の手術を受けたことがありますか？
- 現在、風邪をひいていたり、鼻づまりがあったり、副鼻腔炎や気管支炎にかかっていますか？
- 今までに呼吸器系の病気、重度の花粉症やアレルギー、肺の病気にかかったことがありますか？
- 今までに気胸になったことがありますか？また、胸部の手術を受けたことがありますか？
- 現在、活動性の喘息がありますか？また、肺気腫や結核になったことがありますか？
- 現在、運動能力や精神面に影響が起り得る薬を服用していますか？
- 普段の行動に影響を与えるような精神・心理上の問題、または神経系の障害がありますか？
- 現在、妊娠しているか、あるいはその可能性がありますか？
- 結腸（大腸）切除の手術を受けたことがありますか？
- 心臓病や心臓発作の病歴がありますか？また、心臓や血管系の手術をしたことがありますか？
- 今までに高血圧症または狭心症になったことがありますか？また、現在血圧の治療薬を服用していますか？
- 45歳以上の方にお聞きします。家系に心臓発作や脳卒中を患った人がいますか？
- 出血性の病気、またはその他の血液疾患の病歴がありますか？
- 糖尿病になったことがありますか？
- 発作、意識喪失または失神、けいれんまたはてんかんの病歴がありますか？また、これらの予防薬を服用していますか？
- ケガ、骨折、手術などで、背中、腕や足に後遺症が残っていますか？
- 閉所恐怖症、広場恐怖症、あるいはパニック発作の病歴がありますか？



